子どもの権利条約ってなぁに?

それは「4つの大切なこと」からできています

1. 命を守られて成長できること

「冷がまもられる」、「成長する」とは、もって生まれた能力を予労に伸ばして成長するということです。ただ大きくなるだけではなく、夢を持ったり、好きなことや得意なことを活かしたりすることです。

2. 子どもにとってもっとも よいことを考えること

子どもに関することが行われるときは「その子どもにとってもっともよいこと」を第一に常義えます。

大人は、子どもの考えを 動いて、一緒に考えます。

3. 意見を表明できること

子どもは自分に関係があることについて自由に意見を 表すことができ、大人はその意見を、子どもの発達に 応じて十分に考慮します。

4. 差別のないこと

すべての子どもは、子ども 自身 や 親 の 人種、性別、 造見、しょうがい、経済状況 など、どんな理由でも差別されません。



条例では、これらのことを基本に、子どもの居場所 や相談できる人や場所など、「子どもにやさしい まちづくり」を検討していくよ!

国立市では けんり じょうれい 「子どもの権利」についての条例をつくっています

自分の気持ちを伝え合うことは、 みんながなかよくなることです



"子どもは、生まれたときから大切な権利を持っています。"

これは、国連が定めた「子どもの権利条 約」で保障 されており、日本もこの条 約 を守ることになっています。

国と国とで約束された条約の内容が、 みなさんの生活の中で守られるように、 はたたちし
国立市では、子どもの権利についての「条例」を作っています。

> 子どもの権利が守られるために大切なことは じぶん きもち 自分の気持ちを伝え合い、理解し合うことです。

> > みなさんにとって、

子どもが自分の良いところを十分に伸ばしのびのびと育つために、必要なことはなんですか。この機会に、「権利」について考えてみましょう。



これきでのあゆみ

令和2年7月~

子どもの権利に関する 案例策定のため、子ど もが筑在置かれている 課題について検討をス タート

・中高生サミット実施 (統型コロナウイルスの 影響について)

令和3年~

子どもの権利についての一部で、子どもへのヒアリングスタート・子どもサミット、高校生サミット等施(計3位、子どもの権利や人権・差別について)

令和4年~

サララミラせい、まとな 中高生、大人へヒア リングスタート じょうれいこっし あんさくせい 条例骨子案作成へ

おとな

子どもの権利 こう みんなの声

の一部

小学生

・子どものためを思って先回りしてしまう

- ・親に否定されると思って、言いたいことが言えない でいるのではないか
- ·子どもの本心がわからないときがある
- ・子どもを心配して、チャレンジすることを制限してしまう
- ・自分が親にされたように、厳しくしてしまう
- ·これでよいのか、謎ってしまう
 - ・もっと子どもの権利について

知るべきだと慰う

どの世代も、
「お互いに気持ちを
理解したい」「子どもの
性代利についてもっと知り
たい」と望んでいました。

「大人に押し付けるだけでなく、自分も 一緒に努力したい」 という子どもの 声も多くありました。

中高生

´・否定するときは、理由も説明してほしい

・親の価値観を押し付けないでほしい

自分の夢が否定されている気がする

- ・理由もなく意見が通らない、自分の将来が見えない
- ・首分が思っていることが正しいのか謎ってしまう
- ・知らない人ではなくて信頼のおける人に相談したい
- ・目安箱のようなものがあるとよい
 - ・子どもも大人とは違う忙しさがあり疲れていることを理解してほしい
 - ・子どもの権利について、大人も子どもも、 みんなが知れるようにしてほしい

- ・もっと話を聞いてほしい・一緒に考えてほしい
- ・叱るときは、理由を説明してほしい
- ・子どもをもっと信用してほしい
- ・犬人の気持ちも伝えてほしい
- ・困っていたら相談にのってほしい
- だしいのはわかるけど、話をする時間を作ってほしい
- ・ボール遊びなど自由に遊べる公園がほしい
 - ・身近でよく知っていて、信頼できると思う人に 絹鯵したい
 - ・みんなが子どもの権利を知るよう 、 にしてほしい

自分が主体的に生きていると実感しいるかが、重要なポイントのようです!



今後、「子どもなんでも意見・質問箱」を設置する予定です!

それまでに、 意見があること、 質問したいこと、 菌ったことがあったらここに 来るか 電話してね ♪

国立市役所 児童青少年課 児童・青少年係 ☎ 042-576-2111(「じどうせいしょうねんがかり」といってね(▽)/)

